

R5・10月のわたぼうしだよ



子育て支援センターわたぼうし

TEL 0274-42-8088

新町かぜいろこども園

TEL 0274-42-6700

風がさわやかになり、外遊びが気持ちいい季節ですね。子どもと一緒に散歩に行くと、バッタにとんぐり、色づいた木の葉。秋の宝物がいっぱいです。のんびりと宝物探しもいいですね！

※新型コロナウイルスの影響で行事が変更や中止になる場合があります。ご了承ください。※

月	火	水	木	金	土
2 のびのび広場 お昼の部お休み	3 のびのび広場 お昼の部お休み	4 身体測定 のびのび広場 お昼の部お休み	5 のびのび広場 お昼の部お休み	6 のびのび広場 お昼の部お休み	7 のびのび広場 お昼ご飯は 食べられません
9 スポーツの日	10 のびのび広場 お昼の部お休み	11 のびのび広場 お昼の部お休み	12 予約制 妊婦さんと 赤ちゃんの日 お昼の部お休み	13 のびのび広場 お昼の部お休み	14 のびのび広場 お昼ご飯は 食べられません
16 のびのび広場 お昼の部お休み	17 のびのび広場 お昼の部お休み	18 のびのび広場 お昼の部お休み	19 予約制 サークル支援 laulele スクラップフッキング体験教室 お昼の部お休み	20 予約制 カレンダー作り 11月・12月 お昼の部お休み	21 のびのび広場 お昼ご飯は 食べられません
23 予約制 にこにこリトミック お部屋の利用は10:00~ お昼の部お休み	24 のびのび広場 お昼の部お休み	25 予約制 わたぼうしキッチン お昼の部お休み	26 のびのび広場 お昼の部お休み	27 のびのび広場 お昼の部お休み	28 のびのび広場 お昼ご飯は 食べられません
30 予約制 ハロウィン ティーパーティー お昼の部お休み14:15まで 午後の部開始14:15	31 予約制 ハロウィン ティーパーティー お昼の部お休み14:15まで 午後の部開始14:15				

※laulele (スクラップフッキング) の活動の見学・体験をしたい方は職員まで。
 ・スクラップフッキングとは・・・写真をかわいく飾ってアルバムを作ります

* 予約制についてのお知らせとお願い *

ご本人の予約のみとさせていただきます。(お友達の分はできません。)

予約の取り方は、来園して記入していただくか、電話で予約をしていただくのどちらかになります。

予約の行事を欠席する場合は電話連絡をして下さい。よろしくお願いします。



1. 12日(木) 妊婦さんと赤ちゃんの日について

妊婦さんと生後10か月までの赤ちゃんが利用できます。(赤ちゃんと一緒になら兄妹は利用できます。)
お子さんの身体測定をしたり、スタイ作りや赤ちゃんおもちゃを作ったり、おしゃべりをしたいする時間を
楽しみませんか?(お子さんの身体測定は毎回できます。)
10月は、ハロウィンの寝相アートです。仮装もOKです!ママのスマホで撮影してね!
妊婦さんやママ達も遊びにくるだけでもOKです。(わからない事や詳しい事は職員にお聞きください。)

2. 23日(月) にこにこリズムについて(お座りができる頃から)

活動時間 10時20分頃~11時15分頃まで

準備の都合上、**10時からのお部屋のご利用**となります。お間違えのないように…。
お子さんと一緒に音楽に合わせてやさしい時間を過ごしてくださいね。



3. 30日(月)31日(火)ハロウィンティーパーティーについて

活動時間 10:00~ (お部屋の利用は9:00からできます)

かぼちゃバックを作って、「トリックオアトリート!」お菓子をもらっちゃいましょう!

ハロウィンなので、仮装してきてもOKです。恥ずかしいお友だちはいつものお洋服で大丈夫です。

今年も、フォトコーナーを用意します。ママ達がお子さんのかわいい写真をたくさん撮って楽しんで下さいね!

今年、わたぼうしでおやつを食べようと思います。ママにはコーヒーや紅茶を用意するよ。お友だちは麦茶を飲んでね。まだ、みんなで食べるのは…と思っているママはお土産でも大丈夫です。



絵本って楽しい!という満足感を親子で分かち合う幸せ

日がだんだんと短くなり、お家の中で過ごす時間が増えてくるようになってきますね。

1日の終わりに親子で絵本を楽しむのはどうでしょうか?子どもは大好きなママに読んでもらうことが大好き!
「上手に読まなきゃ。」という気負いはしないで、子どもと一緒に読み聞かせの時間を楽しんでくださいね。



仕事から、お母さんたちに「どんな絵本を選んだらいいのでしょうか?」と、たずねられることが多いのですが、そんなとき私は「絵本を選ぶ時の第一条件は、赤ちゃん向きでも、大きな子向きでも絵本はまず「絵」です」とお話ししています。特に赤ちゃん時代に出会う絵本は、その子の判断基準の基本になるわけですから、できるかぎり美しい絵の本を与えてあげたいものです。子どもの好きなのはこういうものという安易なイメージで描かれた絵やわざとらしいかわいらしさには惑わされないこと。文についても、幼い時に繰り返し聞いた言葉がそのまま言語感覚のベースになることを考えて、正しく美しい日本語で書かれたものをえらびましょう。

絵本の読み聞かせをするときは、「聞き取りやすいように、ゆっくと心をこめて読む」という基本を守れば、あとはごく普通に、楽しみながら読んであげればじゅうぶん。子どもにとっては、どんな名優の朗読より大好きな人が自分のために読んでくれることがうれしいのです。

子どもは成長しても、幼いときに大好きだった絵本、そしてそれを読んでくれた人の思い出をずっと大事に持ち続けていくもの。ですから、お母さんはもちろん、仕事で忙しいお父さんにも、「子どもにたくさん絵本を読んであげて」とお願いしたいですね。

~「0歳からの育脳」主婦の友社より 抜粋~